

昭和初期の山陽銀行本店

写真提供・江見写真館



写真は、京町にあった山陽銀行本店です。写真左側に足場が組まれていることから、昭和初期に行われた改装工事の際に写されたものと思われます。

山陽銀行の前身は、江戸時代に田邑村の大庄屋であった土居家によって明治30年に設立された土居銀行でした。その後、幾多の合併を経て、大正13年に山陽銀行として営業を始めます。営業地域は、岡山県だけでなく、県南地域や、香川・広島県にも支店を開設し、県内でも有力な銀行に成長しました。そして、県南では、紡績業で名をはせた大原孫三郎が社長を務める第一合同銀行が勢力を広げていて、この両行が県内の金融界を二分するまでになりました。

しかし、ちょうどその頃、国内の大手銀行が次々と県内に支店を開設したことで、昭和初期の金融恐慌が重なり、両行とも経営が苦しくなっています。こうした情勢の中、山陽銀行と第一合同銀行は合併の道を選ぶことになり、昭和5年、岡山市に本店を置く「中国銀行」が誕生します。そして、京町にあった山陽銀行本店は「中国銀行津山支店」となり、昭和8年に元魚町へ、さらに昭和45年には現在の山下に移転します。その後、京町に残った建物は、岡山県信用農業協同組合連合会などに使用されましたが、昭和51年、解体工事中に火事が発生し、焼失してしまいました。

今はもうこの写真の建物はありませんが、津山の銀行の歴史を伝える貴重な1枚です。



現在の山陽銀行本店跡地

このコーナーに掲載する懐かしい津山の写真を募集しています

岡山県山陽郡山陽町

〒720-0222 電話 0868-4567



あの頃の津山の取材で、京町の山陽銀行跡地について調べていると、たくさんの方に親切にしてくださいました。京町の歴史の一部を垣間見ることができ、ワクワクする感覚を味わいました。銀行の建物は大変厚感のある佇まいだったようで、現存していれば……と惜しい気持ちも生まれました(W)

今年、「何か新しいことをするぞ」と決意し、何もできないまま1カ月が経過。そんな中、重い物を持ちあげた瞬間、腰に痛みが初めてギックリ腰になりました。家族の勧めもあり整体なるものを初体験。さっそく新しい経験が2回できました。年男の今年、何が起きるのか先行き不安です…(雨)

今年、岐阜県可児市(旧兼山町、香川県土庄町との間で交わしている歴史友好都市縁組が、それぞれ20周年、30周年を迎えます。可児市は、同じ森家が開いた城下町、土庄町は、津山藩の所領だったという歴史を持っています。これを契機に交流が深まればいいですね。そっだ、まずは行ってみよう。(修)

今月の表紙

卵の殻の上を、そろりそろり 子ども防災体験プログラム (勝北風の子ども園)

編集・発行 (毎月10日発行)

津山市総合企画部秘書広報室(市役所3階)〒708-8501 岡山県津山市山北520番地
☎0868-32-2029 ☎0868-32-2152 ✉kouhou@city.tsuyama.okayama.jp

☆広報つやまはホームページで閲覧できます

<http://www.city.tsuyama.lg.jp/>



津山市ホームページ版

☆津山市のフェイスブックはこちら
<http://www.facebook.com/city.tsuyama.kouhou>



津山市フェイスブック

